

令和8年度
北海道大学工学部
編入学試験（特別選抜）

【小論文】

（機械知能工学科共通）

試験時間 9:00～11:00

- ・ 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、黒の鉛筆、黒のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、眼鏡、時計（計時機能のみ有するもの）のみです。これ以外のものを試験時間中、机の上に置いてはいけません。
- ・ 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類、及び時計のアラームは、試験時間中、使用してはいけません。
これらの電子機器類は、あらかじめアラームの設定を解除して電源を切り、かばん等に入れなさい。

注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は、このページを含めて3ページあります。
3. 解答用紙は「小論文1/2」から「小論文2/2」までの2枚、草案用紙は2枚あります。
4. 受験番号は、監督員の指示に従って、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。なお、裏面を使用してはいけません。
6. 必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
7. 解答用紙は2枚とも全部必ず提出しなさい。
8. 問題紙の余白は下書きに使用しても差し支えありません。
9. この問題紙と草案用紙は回収しません。

令和8年度
北海道大学工学部
編入学試験（特別選抜）

【小論文】

（機械知能工学科共通）

令和8年度北海道大学工学部編入学試験（特別選抜）問題【小論文】
（機械知能工学科共通）

問題は問1と問2の二問です。問1の解答は「小論文1/2」の解答用紙に、問2の解答は「小論文2/2」の解答用紙に答えなさい。ともに字数の制限はありませんが、解答用紙の裏面を使用してはいけません。

問1

人類はこれまでに自動車、船舶、航空機など、様々な移動手段を開発・実用化し、いずれも我々の社会において不可欠となっている。近年では新しい移動手段として空飛ぶクルマの開発が進められ、2025年大阪・関西万博においてもデモンストレーションが行われているが、未だに実用化には至っていない。今後、空飛ぶクルマが実用化されるためにはどのような課題を解決する必要があるかについて、機械工学および社会的受容性（*）の観点から論じなさい。

（*社会的受容性：企業・施設・新技術などが地域社会や国民の理解・賛同を得て受け入れられること）

問2

機械工学の分野では、課題を解決し、新しい仕組みや技術を生み出すために、課題に挑戦する意欲、失敗を恐れずに取り組む姿勢、そしてそれらを支える確かな基礎学力が求められます。どれか一つが欠けても、持続的に成果を出すことは困難です。

機械工学を学ぶ者として、「挑戦すること」、「失敗すること」、「基礎学力を身につけること」について、これまでの自身の経験をふまえて、論じなさい。